

⑨ 広尾高校魅力向上プロジェクト “地域に学び、地域とつながり、地域を支える人材を育てる高校に”						
学校教育		社会教育		地方創生		
担当課 企画課、教育委員会管理課、教育委員会社会教育課						
目 標 「日本で一番、 <u>地域に学び、地域とつながる</u> 高校をめざす！」						
現状と課題(現時点での結果と原因)						
●広尾高校への進学者が減少し、生まれ育った地域で学び続ける環境が失われるおそれがある。						
原因 少子化による子どもの数の減少と相まって、地元進学率も減少傾向にあるため。						
●生徒の学力レベルにばらつきがあり、いかに個々の学習習慣の定着を図り、学力の向上をサポートしていくかが課題である。						
原因 中学進学後に数学や英語など授業の難易度が上がり、高校へ進学してからも苦手な教科を克服する手立てが限られているため。						
方向性	広尾高校が、子どもたちにとって魅力的な学びを得たり、充実した学校生活を送ったりする場となり、豊かな地域資源を題材に地域の特色を学び、将来まちに帰って活躍できるような人材を育成する拠点として存続させる。			概要	広尾町民や町内企業などの支援を受け、広尾高校の魅力向上の取り組みを推進し、学力の向上、地域学の充実、特色のある授業の導入などを図り、生徒の全国募集を行いながら、多くの生徒に選ばれる魅力的な高校づくりを進める。	
具体的な方法						
① 町民や企業などに働き掛け、寄付を募ったり、金銭以外の支援を募ったりなど、あらゆる立場から応援する個人や団体を登録する「 <u>広高サポーター制度</u> 」を導入する。						
② <u>地域学をはじめ、インターンシップや探究学習など地域学習を推進する人材として、高校と地域、各学校間をつなぐ「広高魅力向上推進コーディネーター」を配置する。</u>						
③ <u>高校生対象の無料の公設民営塾を開設する。</u>						
④ <u>地域学の確立により、生徒の全国募集を行う。</u>						
⑤ <u>地域に根差した特色のある授業として、未来の社会に役立つ技術や知識を学ぶ職業訓練的な授業の導入を検討する。</u>						
推進方法						
町民や町内企業の支援を募り「広高サポーター」として登録し、町内の協力体制を整えることに加え、広尾高校存続対策協議会や中高一貫教育連絡協議会、広尾高校学校運営協議会など既存の団体とも連携・協調し、広尾高校の魅力向上をまちぐるみで展開する。また、地域おこし協力隊制度などを活用しコーディネーターを配置する。						
「行政」の役割 (国、道、町)		地域の財産である広尾高校の存続に向け、高校の魅力化や地域とのパイプづくりなど、中心となって取り組む。				
「事業者」の役割 (企業、産業経済団体等)		高校 ・地域のあらゆる資源を活用しながら、質の高い高校教育を提供する。 企業、団体等 ・高校教育や教育を行う環境をあらゆる面から支援する。 ・卒業者を積極的に雇用して、まちを担う人材として育成する。				
「地域」の役割 (町内会、ボランティア・サークル等)		保護者の教育を支え、保護者が地域と繋がりを持てるように努める。				
「町民」の役割 (個人、家庭)		生徒の保護者 ・広尾高校に進学することの良さや価値を子ども達に伝える。 その他町民 ・サポート活動に積極的に参加し、広尾高校を応援する。				